



河東 ふれあい



コミュニティ創立20周年記念式典 1月28日(日)

大寒の時期らしい寒さの中、歴代役員・来賓の方々をお迎えし、河東地区コミュニティ運営協議会創立20周年式典を開催しました。

最初に、昨年12月に火災事故によりご逝去されました初代会長の安部和男様、能登半島地震で亡くなりました方々へ哀悼の意をささげる黙とうを行った後、式典に入りました。

オープニングは地域で活動しているザ・ジュピターズの演奏で会場は一気に盛り上がりました。

主催者の花田会長の挨拶の後、来賓を代表して河野副市長、岩岡議員、原田河東中学校長の3人の方から労い、励まし、感謝の言葉など心のこもった祝辞をいただきました。

来賓挨拶の後には、協議会20年の活動記録が映像で流され懐かしく感慨深いものがありました。

最後は、佐々木まり子さん(城西ヶ丘)指導による「かとコミ音頭」で締めました。全員が参加され一体感をより強く感じました。

久しぶりの再会を楽しんでいる姿をここここで拝見する等、盛会のうちに式典を無事終えることができました。

この20年の歴史を「宝」に、今後も河東地区が安全・安心で住みやすいまち、そして楽しいまちになるように、協議会一丸となり協力し活動をしていきたいと思いをしました。

(副会長 西田光生)



河東地区コミュニティ運営協議会
花田鷹人会長



「かとコミ音頭」を踊る参加者

平成15年度会計 塚原美範様から一言

当時須恵区で区長をしていた関係で、コミセンの会計という役について思い出があります。最近のようですが、もうそんな年月が経過したのだと感慨深いものがあります。

それにしても、久しぶりにこうした形で当時の人と顔を合わせるのはいいことではありません。役が終われば大体それまでです。その点どんな形であれ、このような機会を与えてくれたことに感謝します。

これからもよろしくお願ひします。

第10回 かとコミ文化祭



2月3日(土)・4日(日)の2日間、文化祭を開催しました。2日間で約200人が来場され、地域の文化交流の場として賑わいました。文化祭に出展された団体・個人の作品は全て完成度が高く、来場者も作品を熱心に食い入るように見ておられました。

2日目には、「命の川・釣川を守る30年の歩み」と題して、環境整備部会の清水比呂之部会長の講演がありました。聴講者も多く、皆さん興味深く聞き入っておられました。

今回の文化祭で来場者の方にプログラムと感想アンケート用紙を配付しました。感想アンケートには、出展者の皆さんの作品への称賛や激励のコメントがたくさん記入されており、河東地区の文化祭を満喫でき、感心と感動の2日間となったようです。

開催に際しまして出展していただいた方々、また、ご協力いただいた関係者の皆さんに心からお礼を申し上げます。

(文化祭実行委員長 西田光生)



ホールの様子



サロンの様子



講師の清水さん

環境講演会の様子

冬休み かとコミ宿題Day 12月26日(火)・27日(水)

河東小・河東西小学校合同の「冬休み宿題Day」をコミセン多目的ホールで実施しました。2日間で25人と夏休み宿題Dayと比べると小人数の参加でしたが、5人のボランティアティーチャーと、より深いコミュニケーションがとれたと思います。

宿題Day3つの約束の一つである「めあてをもつ」それを達成するために頑張る姿はとても真剣でした。今回特に感じたのは、苦手な問題を深掘りして取り組むことと、辞書の使い方の上達でした。そんな子ども達をサポートする地域ボランティアスタッフとの「ふれあい、絆」が強く感じられる2日間でした。

次回の夏休み宿題Dayではそれぞれ進級して成長した姿をみせてくれることでしょう。

(地域ボランティア 宿題Day担当 牧野将隆)



大谷グローブ! 届きました!!



河東小学校



河東西小学校